

～ “手のひら認証” による本人確認で印鑑が不要に～
「新営業店システム」を全店に導入します！

株式会社池田泉州銀行（頭取 藤田博久）は、お客さまへのサービス向上を目的に株式会社 NTT データ（社長 岩本敏男）の勘定系端末ソフト^(注1)「BeSTAlinc[®]（ベスタリンク）」を採用した新営業店システムの導入を平成 27 年 10 月 5 日より開始し、平成 28 年 3 月末までに全店（139 ケ店）に展開します。

本システムは「1. お客さまへのサービス向上」、「2. 窓口のスピーディーな対応」、「3. 事務の効率化・堅確化」を目的とし、“手のひら認証”を用いた印鑑レス取引の実施や“タブレット端末”を活用した申込書記入負担の削減を実現します。将来的には、“手のひら認証”と“タブレット端末”の機能を併用し、申込書や伝票などを必要としない手続き実現を目指します。

【新営業店システムの主な機能および特徴】

1. お客さまへのサービス向上

① “手のひら認証”を用いた印鑑レス取引実施・拡大

“手のひら認証”による本人確認を行うことで、窓口の印鑑レス取引実現を目指します。平成 28 年 4 月には、通帳等の喪失届手続き時の印鑑押印や本人確認書類の提示を不要とします。今後、預金のお引き出しや変更届等についても順次広げていくことを検討します。

② タブレット端末を活用した申込書自動作成

タブレット端末に入力して申込書を自動作成することで、お客様のご記入負担がなくなります。平成 28 年 3 月には、外国送金及び外貨定期預金の申込書を自動作成します。今後、ローン申込にも拡大予定で、この他にも、住所変更などの各種お届出にも順次広げていくことを検討します。更に“手のひら認証”による本人確認と併用することで、将来的にはタブレット端末上で手続きが完結することを目指します。

③ お客さまが「記入しやすい」「見やすい」伝票・通帳への改訂

ユニバーサルデザインに準拠したお客さまにやさしいデザインを伝票・通帳に採用します。

④ 高抗磁力（こうこうじりよく）通帳^(注2)の導入

バッグの留め金、携帯電話等、日常生活上の磁力の影響をより受けにくい通帳を導入します。本システム導入で高抗磁力通帳の取り扱いが可能となります。

2. 窓口のスピーディーな対応

① 事務ナビゲーション機能^(注3)の搭載

事務ナビゲーション機能の搭載により、窓口での煩雑な端末操作もスピーディーかつ正確な対応が可能となります。

② パソコンによる残高照会対応

お客さまの取引残高照会などを、本端末だけでなく従業員の自席パソコンからでも照会できるように広げることで、待ち時間短縮が可能となります。

3. 事務の効率化、堅確化

① “指静脈認証”を用いた新営業店システムへのログイン

従業員が新営業店システムにログインする際、“指静脈認証”による本人確認を行うことで、なりすまし等による不正アクセスを未然に防ぐことができます。

② 役席承認を自動通知

窓口で役席承認が必要な取引が発生した際、役席者のパソコンに自動で取引発生のお知らせを行うことで、スピーディーな承認対応が可能となります。

<新営業店端末イメージ>



注 1) 勘定系端末ソフトとは、銀行の勘定処理を行うコンピュータへ接続するためのソフトで、主にお客さまの入出金や残高等の各種照会や設定変更などの各種取引を専用端末で実現するためのソフトウェアのことです。

注 2) 「高抗磁力通帳」は、平成 28 年 4 月から順次展開予定です。

注 3) 「事務ナビゲーション機能」は、平成 28 年 4 月から稼働予定です。